楡は枯れず

（昭和五十五年寮歌）

新井桂二君 作歌
奥田和人君 作曲

北に生まれし者たちよ
北に出会いし者たちよ
北に奢れる者たちよ
北に歌える者たちよ
永遠に祈りし朝は未だかなわず
百年に織りたる衣は当に引き裂かれんとす
嗚呼願わくば二度糸を紡ぎて
限りなく澄みわたる穹北の空に舞わん

一

朝靄けむる今ひとときの
熟寝の夢の幸せよ
覚めて現に見渡せば
美は崩れゆく北都なり
天空常に雲抱けども
楡は萌えて大地をまねく

二

清冽の野に道を耕し
荒野に明日を信じつつ
彷徨い行ける寂しさに
陽は傾きて我を見る
虚いゆける時にこそ
楡は映えて風を斬る

三

北の自然は蝕ばまれゆき
青葉の降るや青春の寮庭
忘るるなかれ大願を
胸に秘めし涙痕を
時は人はと変われども
楡は枯れず空をさす